



2025年4月28日

各位

会社名 株式会社中電工
代表者名 代表取締役社長 重藤 隆文
(コード：1941 東証プライム)
問合せ先 執行役員 企画本部経営企画部長 東 光晴
(TEL：082-291-9730)

中期経営計画2027（2025～2027年度）の策定および 中電工グループ2030ビジョンの数値目標の見直しに関するお知らせ

当社は、この度、中電工グループの「中期経営計画2027（2025～2027年度）」を策定しましたので、お知らせいたします。

また、2022年10月28日に公表した「中電工グループ2030ビジョン」について、数値目標の見直しを行いましたので、併せてお知らせいたします。

1. 新中期経営計画の策定

[前中期経営計画2024（2021～2024年度）の振り返り]

創立80周年の節目となる2024年度をターゲットにした前中期経営計画では、エネルギー価格や原材料価格の高騰、労働者不足など厳しい状況が続く中、中国地域の基盤強化、都市圏の事業拡大を方針に、営業・施工体制の強化や生産性の向上等の諸施策に取り組んだ結果、当初目標を上回る業績を達成することができました。

今後の事業環境は、製造業の設備投資や都市部の再開発など引き続き堅調に推移することが期待される一方で、エネルギー価格や原材料価格の高止まりが続くことが想定されます。また、労働者不足が深刻さを増しており、インフラを担う企業としての役割を果たし続けるためには、人材の確保・育成による営業力・施工力の強化とともに、持続的な賃上げ等に対応した生産性向上による利益の創出が一層重要となっています。

[新中期経営計画2027]

こうした状況を踏まえ、新中期経営計画では、安全とコンプライアンスを最優先に、これまで着実に成果を上げている中国地域の基盤強化、都市圏の事業拡大に引き続き注力することとし、営業力・施工力の一層の強化による事業拡大により、電力やお客さま設備など社会インフラの維持・構築に貢献するとともに、DXや施工の効率化など業務全般にわたる生産性向上の取り組みを深化させ、更なる利益を創出します。

また、受注面では体制の強化とともに、半導体やデータセンターなど成長分野の需要の取り込み、PPA事業、リニューアル工事の提案強化など恒常的な受注の確保・拡大を図ります。

以上の取り組みを着実に推進し、持続的な成長サイクルを確立するためには、従業員一人ひとりのスキルアップとエンゲージメント向上が不可欠であり、人的資本経営を強力に推進してまいります。

当社グループは、事業環境の変化に迅速に対応して変革を進めるとともに、M&Aや出資など成長投資による事業拡大を推進することで、新中期経営計画の目標を達成し、更に持続的な成長を遂げ「中電工グループ 2030ビジョン」の実現に繋げてまいります。

<p>中期経営計画2027（2025～2027年度）</p> <p>Change & Growth For All to 2027</p> <p>～営業力・施工力の強化と人的資本経営の推進～</p>		
<p>【主要施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・コンプライアンスの徹底と品質の向上 ・ 営業力・施工力の一層の強化と受注の拡大 ・ 生産性の向上による利益の創出 ・ 人材の確保・育成の強化と魅力ある職場づくり ・ 成長投資による事業拡大 		
<p>【連結数値目標（2027年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 2,400億円 営業利益 230億円 ROE 7.0%以上 		

新中期経営計画の詳細につきましては、別添資料をご覧ください。

2. 中電工グループ2030ビジョンの数値目標の見直し

新中期経営計画では、営業力・施工力の一層の強化による事業拡大により社会インフラの維持・構築に貢献するとともに、業務全般にわたる生産性向上の取り組みを深化させ、更なる利益の創出を図ることにより、連結数値目標（2027年度）の達成を目指します。

これに対応して、中電工グループ2030ビジョンの数値目標を次のとおり見直し、グループ一体となって持続的な成長と企業価値の更なる向上の実現に取り組んでまいります。

連結業績	2030年度 (現行目標)	2030年度 (見直し後)
売上高	2,500億円	<u>2,600億円</u>
営業利益	170億円	<u>240億円</u>
ROE	5.0%以上	<u>7.0%以上</u>

3. 添付資料

中期経営計画2027（2025～2027年度）

以上

中期経営計画 2027 (2025~2027年度)

Change & Growth For All to 2027

～営業力・施工力の強化と人的資本経営の推進～

1. 中期経営計画 2024 (2021~2024年度) の総括
2. 中期経営計画 2027 (2025~2027年度) の概要
3. 主要施策と取り組み
4. 連結数値目標

株式会社中電工

2025年4月28日



1. 中期経営計画2024（2021～2024年度）の総括 - 業績 -

■ 原材料価格の高止まりや労働者不足など厳しい事業環境の中、中国地域の基盤強化や都市圏の事業拡大、生産性の向上等の諸施策に取り組んだ結果、連結・個別ともに目標を上回る業績を達成した。

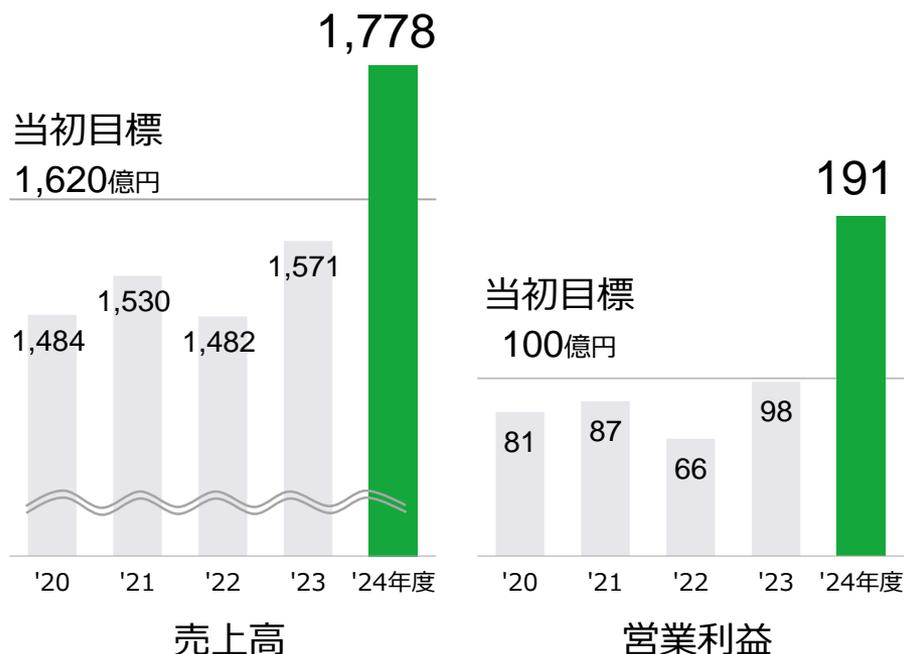
連結

2024年度	当初目標	実績
売上高 億円	2,100	2,218
営業利益 億円	120	216



個別

2024年度	当初目標	実績
売上高 億円	1,620	1,778
営業利益 億円	100	191



1. 中期経営計画 2024 (2021~2024年度) の総括 - 成果と課題 -

中期経営計画 2024 主要施策など

企業運営の基盤

- 安全最優先の徹底および実践と健康管理の推進
- コンプライアンスの徹底による意識改革の定着
- 働き方改革の強力な推進による時間外労働上限規制の確実な遵守

主要施策

- 受注の拡大・施工体制の強化
- 利益の確保・拡大と競争力強化
- 人材の確保・育成の強化
- 品質の向上
- 成長投資 (M & A ・ 出資等) による事業拡大

成 果

- 健康経営優良法人ホワイト500、えるぼし2つ星、くるみんの認定
- 働き方改革の浸透
- 受注高の堅調推移
- 売上高の着実な増加
- DX推進等の生産性向上施策による工事利益の向上
- 工事全体にわたる品質の向上
- サマイデン社・IAQ社への出資、太陽光発電セカンダリー事業の買収
- PPA事業の拡大、自社の脱炭素化の着実な進捗

継 続 課 題

- 時間外労働上限規制対応
- 売上高の維持向上
- 更なる生産性の向上
- 工事部門における人手不足の改善
- 従業員エンゲージメントや働きがいの向上
- 成長投資等、資本政策の具体策の実現による資本効率の向上

2. 中期経営計画 2027 (2025~2027年度) の概要

Change & Growth For All to 2027

～営業力・施工力の強化と人的資本経営の推進～

- 安全とコンプライアンスを最優先に、これまで着実に成果を上げている中国地域の基盤強化、都市圏の事業拡大に引き続き注力することとし、営業力・施工力の一層の強化による事業拡大により、電力やお客さま設備など社会インフラの維持・構築に貢献するとともに、DXや施工の効率化など業務全般にわたる生産性向上の取り組みを深化させ、更なる利益を創出する。
- 持続的な成長サイクルを確立するためには、従業員一人ひとりのスキルアップとエンゲージメント向上が不可欠であり、人的資本経営を強力に推進する。



中電工グループ
2030ビジョン

中期経営計画 2027 (2025~2027年度)

中期経営計画 2024 (2021~2024年度)

中期経営計画 2020 (2018~2020年度)

<2020年度実績>

売上高	1,844億円
営業利益	94億円
ROE	3.8%

<2024年度実績>

売上高	2,218億円
営業利益	216億円
ROE	6.9%

<2027年度目標>

売上高	2,400億円
営業利益	230億円
ROE	7.0%以上

<2030年度目標>

売上高	2,600億円
営業利益	240億円
ROE	7.0%以上

(注) 2024年度のROEは、決算数値9.1%から、過去に計上した投資損失を損金算入したことによる法人税等の減少効果(特殊要因)を除いた数値。

3. 中期経営計画 2027 (2025~2027年度) 主要施策と取り組み

1 安全・コンプライアンスの徹底と品質の向上

安全とコンプライアンスを最優先とした事業運営を徹底するとともに、お客さまの信頼と満足度の向上に向けて、品質の確保・向上に取り組む。

- 協力会社と一体となった安全最優先の意識と基準ルール遵守の徹底
- コンプライアンス意識の向上と法令遵守の徹底
- 工事のプロセス全体にわたる品質の確保
- 災害時の早期復旧など電力安定供給への確実な貢献 等

2 営業力・施工力の一層の強化と受注の拡大

中国地域のシェア拡大、都市圏の事業拡大に向けて、営業力・施工力を一層強化する。

- 営業要員の確保と設計力・提案力の強化
- 技術要員の確保・育成と施工管理者の最適配置
- 協力会社とのパートナーシップ強化
- 半導体・データセンターなど成長分野の受注強化 等

3 生産性の向上による利益の創出

DXや施工の効率化など業務全般にわたる生産性向上の取り組みを深化させ、更なる利益を創出する。

- DX、生成AIの活用による一層の業務効率化
- フロントローディングの全社展開による工事の平準化・効率化
- 迅速な情報共有、コミュニケーション強化による課題の早期解決
- 原価管理の強化と一層のコスト低減 等

4 人材の確保・育成の強化と魅力ある職場づくり

採用方法の多様化による人材確保、育成の強化と魅力ある職場づくりを推進し、従業員のスキルとエンゲージメントの向上を図る。

- リファラル採用、初任地限定採用など採用方法の多様化
- 資格取得教育等によるスキルアップの継続的支援
- ワークライフバランスの推進
- 快適な職場環境の整備、健康経営の推進 等

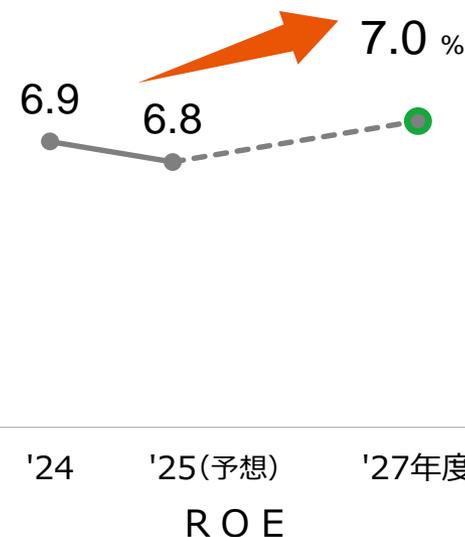
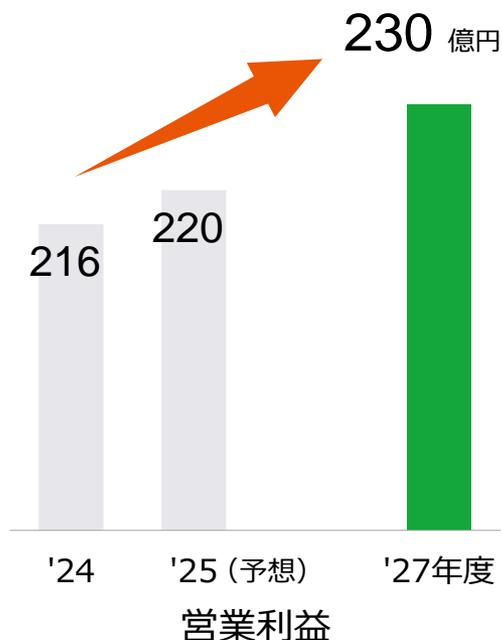
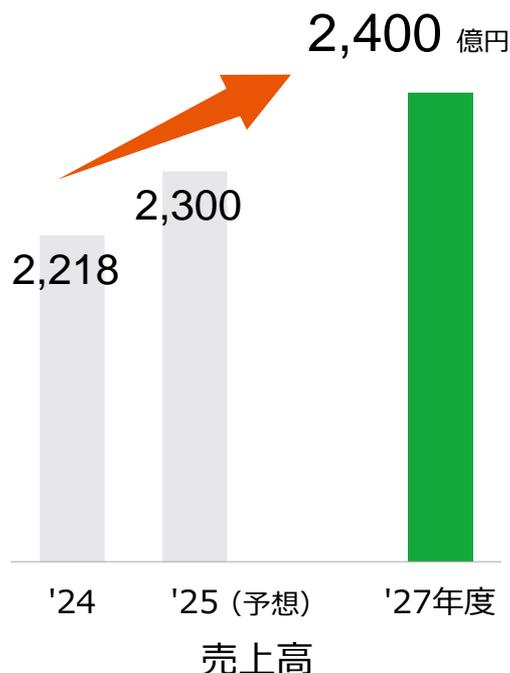
5 成長投資による事業拡大

カーボンニュートラルに向け、脱炭素化支援として環境関連ビジネスを推進する。また、事業拡大に向けたM&Aに取り組む。

- PPA事業など環境関連ビジネスの推進
- 技術研究開発の推進
- 施工体制の強化に向けたM&Aの推進 等

4. 中期経営計画 2027 (2025~2027年度) 連結数値目標

■ 主要施策を着実に実行し、中期経営計画の最終年度の2027年度に、売上高 2,400億円 (対2024年度 181億円増)、営業利益 230億円 (対2024年度 13億円増) の達成を目指す。



(注) 2024年度のROEは、決算数値9.1%から、過去に計上した投資損失を損金算入したことによる法人税等の減少効果(特殊要因)を除いた数値。



中電工

将来見通しに関するご注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。